

本学の先生方が
執筆された新刊情報をお届け！

RECOMMEND BOOKS

2024 SPRING

03

小野 秀誠(名誉教授)、
湯川 益英(経済学科教
授) 分担執筆
『判例プラクティス民法Ⅱ
債権(第2版)』

信山社 2023年9月 3800円

判例法理の体系的理解を可能にする民法(債権)学習教材の第2版。初版(2010年)以降の民法改正に対応すると共に、収録判例を見直し令和4(2022)年までの全407件を解説しています。

04

明田川 聡士(言語文化
学科准教授) 訳
(陳 又津 著)
『霊界通信』

あるむ 2023年10月 2300円

それぞれ異なる性、年齢、人生を歩む「わたし」を語り手とする四章の物語は、医療・介護の問題などに題材を広げながら、ときに皮肉、風刺、ブラックユーモアを交えて描き出されています。台湾出身の在米華人作家による最初の長編小説です。

07

伊豆田 俊輔(ドイツ語
学科准教授) 分担執筆
『ドイツ国民の境界
—近代史の時空から』

山川出版社 2023年11月 5500円

ドイツ語圏における「境界」の生成と作用について具体的な事例をもとに検討。多層性、曖昧性など、境界の様々な特性が表出する場面とその背後にある論理を歴史的文脈に沿って抽出。「境界」を生きた人々の歴史に接近しつつ、伸縮自在で可変的なドイツ語圏の歴史の一端を描き出した論文集。

08

熊木 淳(フランス語学
科准教授) 分担執筆
『戦後フランスの前衛た
ち—言葉とイメージの実験
史』

水声社 2023年11月 6000円

大戦後の芸術運動を俯瞰する第一部、前衛周辺の作家たちを論じる第二部、時に革新をもたらした音声詩、視覚詩の展開を見据える第三部を通して、戦後フランスの前衛運動の見取図を描き出します。

11

尾玉 剛士(フランス語学
科准教授) 共訳(ミシェ
ル・マルゲラース・ダニエ
ル・タルタコウスキ 著)
『解けていく国家—現代フ
ランスにおける自由化の歴史』

吉田書店 2023年12月 3200円

戦後フランスでは「規制国家」「社会国家」が民衆の支持を基礎に形成されました。やがてそうした国家が自由化・市場化によって「解けていく」過程と、その一方で「秩序維持国家」の様相が強まっていく過程が描かれます。

12

井上 靖代(経営学科教
授) 分担執筆
『図書館サービス概論
JLA図書館情報学テキ
ストシリーズⅢ 4』

日本図書館協会 2023年12月 1900円

新しい時代の図書館サービスの広がりを丁寧に解説したテキストブック。各地で実践されている多様なサービスを原理(モデル)に基づいて構造的に理解する力を身に付けられるようになっています。図書館サービスの本質をとらえる際の必携書です。

15

山田 修(名誉教授) 訳
(ジョージ・マッカイ・ブ
ラウン 著)
『ヴィンランド』

鳥影社 2023年12月 2500円

コロンブスより500年も前にヴァイキングが訪れていた北米の地ヴィンランド。英国グレートブリテン島北東のオークニー諸島に生まれ、ヴィンランドへの密航等、波乱に富んだ主人公の一代記。11世紀北欧の知られざる歴史物語です。

16

加藤 一彦(国際関係法
学科非常勤講師) 共編著
『新7版・現代憲法入門講
義』

北樹出版 2024年2月 3000円

憲法と現実の矛盾を意識しつつ、そのあるべき姿を初学者に理解できるように解説。昨今の憲法政治の動向にも対応。各講のレジュメが要点の把握を助け、チェックポイントがさらなるステップアップを促します。最新の最高裁判所判決も踏まえた最新版。

01

古閑 彰一(名誉教授)
分担執筆
『平和学事典』

丸善出版 2023年6月 24000円

平和学とは、何が平和を脅かすのか、そして何が平和の基礎となるのかを究明する学問です。本書は、日本平和学会を編集母体として、計276項目を立項した日本の平和学の総力を結集した初めての学問事典です。

05

半田 滋(言語文化学
科准教授) 著
『台湾進攻に巻き込ま
れる日本—安倍政治の「継
承者」、岸田首相による敵
基地攻撃・防衛費倍増の
真実』

あけび書房 2023年10月 1800円

台湾有事は2027年までに起きる?米中が軍事衝突すれば日本が攻撃対象になり、沖縄が「捨て石」に。「敵基地攻撃能力の保有」で「専守防衛」を投げ捨て「新しい戦前」に向かう岸田政権の危険性を問う一冊。

09

大藤 紀子(国際関係法
学科教授) 分担執筆
『新国際人権法講座(第5
巻) 国内的メカニズム／
関連メカニズム』

信山社 2023年11月 5400円

激動する世界における国際人権規範の実相や各国での実施状況を分析した「新国際人権法講座」の第5巻。国際連合をはじめ、各国国際機関が定める人権条約を実現する、国内法上の仕組みや制度を比較法的に考察しています。

13・14

柿沼 義孝(名誉教授)、黒子 葉子(ドイツ語学
科准教授)、マティアス・ビティヒ(ドイツ語学
科准教授)、矢羽々 崇(ドイツ語学
科教授) 共著
『ABCドイツ語 初級総合読本1』

白水社 2024年2月 2500円

『ABCドイツ語 初級総合読本2』

白水社 2024年2月 2600円

ヨーロッパ言語共通参照枠A2レベルを目指す、ドイツ語の総合的な学習のための教材です。パートナー練習を通して、日常的なドイツ語表現を学び、「ドイツ語の仕組み」で各課の文法事項を確認。短い文章の読みや発音練習、豊富な練習問題で、その課で学んだ文法力を定着させます。

17

根木 昭英(フランス語学
科准教授) 分担翻訳
『レトリックとテロル—ジ
ロドゥ／サルトル／ブラ
ンショ／ポーラン』

水声社 2024年3月 4500円

言語表現の臨界点を提起したポーランを紹介し、戦前の文壇を代表する大作家ジロドゥと、新進気鋭のサルトル／ブランショとの知られざる応酬を明らかにし、戦後フランス文学の基調をなす言語観に迫ります。

18

大串 紀代子(名誉教授)
訳・解説(カール・シュビ
テラー 著)
『スイス人よ、中立であ
れ—絵画と写真で読む「私
たちスイスの立場」』

明石書店 2024年3月 2600円

第一次世界大戦勃発の1914年、後のノーベル文学賞詩人シュビテラーはチューリヒでスイス人に中立の維持を呼びかける演説を行いました。その演説文を邦訳、さらに関連する絵画・写真等とともに解説し、永世中立国スイスのアイデンティティを浮き彫りにします。

02

岡田 順太(法律学科教
授) 共編著
『障害のある人が出会う
人権問題』

成文堂 2023年9月 3000円

憲法、障害法、社会福祉法、障害者福祉論等を学ぶ学生や、障害を持つ人及びその家族、福祉関係者、法律家が、体系的憲法学の人権論の観点から「障害のある人の人権」を学ぶための書です。

06

小野 秀誠(名誉教授)
分担執筆
『新ハイブリッド民法1 民法
総則(第2版)』

法律文化社 2023年10月 3100円

抽象的な法規範が実際の事件にどのように適用されるのかイメージしやすいようにCaseやTopicなども用いて、読者に立体的な理解を促します。初版刊行(2018年)以降の関係法令の改正や重要判例をおさえて改訂。

10

鈴木 涼太郎(交流文化
学科教授)・松本 健太郎
(英語学科教授) 編著、須
永 和博(交流文化学
科教授)・山口 誠(交流
文化学科教授) 分担執筆
『移動時代のツーリズム—動きゆく観光学』

ナカニシヤ出版 2023年12月 2600円

グローバル化の進展と移動に関連するテクノロジーの発達にともなう「移動時代」における観光の変容を多角的に考察します。

父母の会助成 キャンパスメンバーズ&大学パートナーシップ

芸術・文化に触れよう! —文化施設利用制度のご案内

学生証の提示で博物館・美術館への入場が無料(割引)になります。



撮影:上野則宏

東京国立近代美術館

1952年に開設された日本初の国立美術館で、絵画・彫刻・水彩・素描・版画・写真など、さまざまな作品を所蔵している。

🚶 東京メトロ東西線 竹橋駅下車



国立科学博物館

日本で唯一の国立の科学博物館であり、展示されているものの他に収蔵品の数は485万点を超える。

🚶 JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



彩の国さいたま芸術劇場

1994年オープンの劇場。シェイクスピア全37作品を上演した「彩の国シェイクスピア・シリーズ」をはじめ、質の高い演劇、舞踊、音楽公演を実施している。

🚶 JR埼京線 与野本町駅(西口)下車



東京国立博物館

日本を軸に東洋のさまざまな地域の文化財を収集・保管し、一般に公開している。お薦めは重要文化財にも指定されている本館(日本ギャラリー)。

🚶 JR山手線/東京メトロ銀座線・日比谷線 上野駅、京成線 京成上野駅下車



江戸東京たてもの園

都立小金井公園の中に位置し、敷地面積約7ヘクタール。現地保存が不可能な文化的価値の高い歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示している。

🚶 JR中央線 武蔵小金井駅下車



草加市文化会館

草加市に内外から一流の芸術家を招へいし、質の高い芸術を鑑賞する場を市民に提供している。

🚶 東武スカイツリーライン 獨協大学前(草加松原)駅 下車

その他、下記施設でも制度が適用されます。

▶ 国立工芸館(石川県金沢市) ▶ 国立西洋美術館 ▶ 国立新美術館 ▶ 国立映画アーカイブ ▶ 国立劇場(開場中) ▶ 国立科学博物館 附属自然教育園 ▶ 筑波実験植物園 ▶ 江戸東京博物館(休館中) ▶ 東京都美術館 ▶ 東京都現代美術館 ▶ 東京都写真美術館 ▶ 東京都庭園美術館 ▶ 東京芸術劇場 ▶ 東京文化会館 ▶ 埼玉会館

※特典内容、開館時間、休館日等詳細は、各施設公式ホームページをご確認ください。

制度の詳細については大学ホームページをご確認ください。
(大学HP美術館・博物館等の利用特典制度)



ぶ-ら-り-ら-い-ぶ-ら-り

Vol.110

獨協大学図書館へようこそ!

新年度がスタートしてから1か月が経ちました。皆さん、もう図書館を利用しましたか?

「図書館ってどうやって利用するのかわからない…」という方は必見! 今回は、図書館の基本的な利用方法やサービスをご紹介します。

STEP 01 入館・退館

出入口は、1~3階の各階にあります。

ゲートに学生証をかざして入館します。



STEP 02 資料の配置

テーマ別で、各階に配架されています。同じテーマの図書・雑誌・参考図書は、すべて同じ階に揃っているので、特定分野の資料を探しやすいのが特長です。

3階	芸術、言語、語学、文学
2階	社会科学、自然科学、工学、産業
1階	総記、哲学、歴史

STEP 03 貸出・返却

本と学生証を持って、メインカウンター(1階)または3Fカウンターで手続きを行ってください。1階には、学生証をタッチしてセルフで貸出できる「自動貸出機」もあります(返却は不可)。

区分	貸出冊数	貸出期間
学部学生	20冊	14日 (図書・雑誌共通)
大学院生	30冊	図書:30日 雑誌:14日

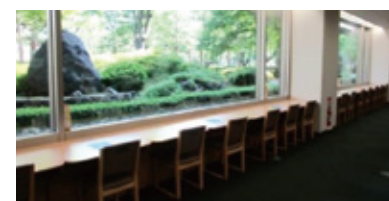
STEP 04 資料相談

資料探しなどで困った時は、レファレンスカウンター(1・2階)へ相談してみましょう。レポートの書き方や、データベースの使い方などの質問も受け付けています。

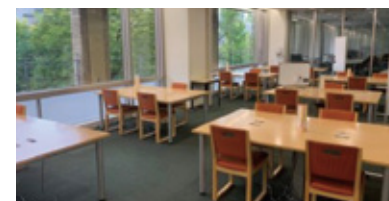


STEP 05 閲覧席

個人利用にもグループ利用にも対応した、多種多様な閲覧席を用意しています。その時の学修スタイルに合わせて、利用してください。



美しい中庭が見える窓際は人気の席です!



グループ学習にぴったりの部屋もあります!